

年 度 評 価 シ ー ト

課名 観光・MICE推進課

施設の名称 清水港船宿記念館	指定管理者名 公益財団法人するが企画観光局
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>一般廃棄物収集処理業務、ねずみ・衛生害虫防除業務、トイレ定期清掃業務、緑化管理業務、警備業務を第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和2年度における施設利用者数は4,783人で、目標数値である21,000人に対して22.8%であった。令和元年度の来館者数15,498人から69.1%減となっており、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館、清水港への客船寄港が相次いでキャンセルとなったことのほか、清水みなと祭りを始めとした大型イベントの中止など、外出・観光の自粛といった外的要因によるところが大きかったと考えられる。</p> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>令和2年4月18日から5月25日までの間、施設を臨時休館としたため事業計画の一部を変更せざるを得なかったものの、イベント規模を縮小しての実施や展示内容のリニューアルを行うなど、コロナ禍においても感染対策を講じたうえで誘客を図る様子が見られた。また、PRのためのSNS発信を開始し、認知度の向上に努めていた。</p> <p>令和2年度において実施した催事・企画展等は次のとおり。</p> <p>ア 次郎長巷談の開催（2回、参加者延べ24名）</p> <p>イ つるし飾り展</p> <p>「ねずみのお嫁入とねずみのお雛様」、「祭りつるし飾り」、「つるの恩返し、おむすびころりん」</p> <p>ウ 施設再開イベント（飴すくい）</p> <p>エ 次郎長命日限定イベント</p> <p>オ 縁日（七夕縁日、次郎長生誕200年縁日、末廣de駄菓子屋さん）</p> <p>カ 英語とお友だち教室（未就学児向け、3回、参加者延べ15人）</p> <p>キ 末廣ハロウィン</p> <p>ク 末廣特別展示（展示リニューアル）</p> <p>ケ 干支置物作り体験教室</p> <p>巷談、体験教室はいずれも規模を縮小しての開催となったが、休館期間中の12月31日に客船飛鳥Ⅱが清水港へ入港した際には、地域のまち歩き観光の拠点としての機能を発揮すべく、施設を臨時開館して乗船客への観光PRを行ったことは高く評価できる。</p>	

<p>2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）</p> <p>令和2年度に実施されたアンケート等では大きな不満や要望はなく、利用者に対して適切な対応がとられている。また、所管課と平時より連絡を密に取り、連携ができている。特に苦情等意見はないが、利用者の意見にすぐに対応できるように対応責任者を置き、良好な体制がとられている。</p>					
<p>3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価</p> <p>(1) 利用者満足度調査</p> <p>施設利用者に対して、通年で満足度調査を行った結果、94.2%が満足か概ね満足という結果であり、前年に引き続き、高い水準を保つことが出来ており、利用者の多くにとって適切な施設運営がなされていることがわかる。</p> <p>(2) 市民アンケート</p> <p>当課所管4施設（三保真崎グラウンドゴルフ場、東海道由比宿交流館、東海道広重美術館、清水港船宿記念館）で実施しているアンケート調査によると、他施設利用者における清水港船宿記念館の認知度は15.1%であり、前年度の23.0%を7.9ポイント下回った。観光がマイクロツーリズム化していく中で、SNSを活用したPRに加えて地元地域へのPR強化に期待したい。</p>					
<p>4 指定管理者の経理状況の評価</p> <p>指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりにより執行されており良好である。</p>					
<p>5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度事務事故発生の有無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無</td> <td>無</td> </tr> </table> <p>施設の管理運営全般に関しては、事業計画に従い概ね良好に実施され、小破修繕の実施に関しても所管課へ速やかに相談・実施がなされており、市との連絡調整も円滑に行われている。</p> <p>来館者数の減少については、感染拡大に伴う外出自粛が観光産業全体に大きく影響していることは認められるものの、客船寄港件数の減少といった外的要因が及ぼす来館者数への影響や、来館者アンケートからみたリピーターの件数は課題の一つとして認識する必要がある。</p> <p>一方、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けたことにより、イベント規模の縮小や中止を余儀なくされたものの、地元の子供たちをターゲットとした縁日を開催するなど、困難に直面しながらも利用者獲得に向けた試みを実施していく姿勢は評価できる。</p> <p>地元商店街との連携のさらなる強化、次郎長生家や梅蔭禅寺といった次郎長関連施設との連携を通して、施設や展示が持つ魅力の発信や、まち歩き観光の拠点としての機能を発揮するとともに、引き続き施設認知度の向上に向けた取組に期待したい。</p>		前年度事務事故発生の有無	無	前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
前年度事務事故発生の有無	無				
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無				

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。